平成22	?年度(対2)	1年度実績)			尹	羽	*	未	Ē	T	1四	衣		作成	H 2	区成	22 年 5	5 月 2	20 日
部局名	総務企画部		所属名	職員	〕課					所属	長名	渡邊 一正		電影	£ 48	3-1151	内線235	0	
1. 事務事業の位置付け・概要(PLAN)																			
コード	3023	事務事業名称	安全衛	生管:	理事業									短縮二	コード	経常	3023	臨時	3688
予算区分	会計 01	一般会計		款	02	総務費				項	01	総務管理費		目	02	人事管	管理費		
区分	i	労働安全衛生法,八千代市職員安全衛生管理規程 根拠法令等																	
□その他																			
事業概	事業概要(事務事業を開始したきっかけを含めて記入)																		
																			$\overline{}$

労働安全衛生法に基づき、労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境を形成することを目的に開始された。時期は、八千代市職員安全衛生管理規程が制定された昭 和52年3月31日。事業概要としては、職員の健康管理及び安全衛生に関する研修等で、産業医の職場巡回、メンタルヘルス相談、健康診断などを実施している。

事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測

業務の複雑化や住民ニーズの多様化等により、一人当たりの仕事の量は 質とともに増えており、「精神及び行動の障害」による長期病休者が増 加している。

	5本の柱(章)	06	計画推進のために						
	大項目(節)	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進						
総合	中項目	03	市民サービスの向上を図る行財政運営の確立						
計画	T 29 L								
の施	小項目(施策)	01	効率的な行政運営の確立						
策	7.独口(旭水)								
策体系	細項目	03	人事体制の整備						
	州 久 口								
	実施計画の								
	計画事業								
平成	平成22年4月 ~ 平成23年3月 計画事業費 千円								

2. 事務事業の目的・指標・実績(DO)

計画事業の位置付けの有無

].].].].]. [.].	
対象 (誰を何を対象にし ているのか)	八千代市職員
手段 (具体的な事務事業	※平成21年度に実際に行ったこと: 1. 健康診断及び予防接種の実施。 2. 産業医による保健面接,カウンセラーによるメンタルヘルス相談。 3. 安全衛生委員会の開催及び派遣研修。
のやり方、手順、詳細) 細)	※平成22年度に計画していること: 平成21年度の内容と同様だが、「精神及び行動の障害」による長期病休者が増加していることから、過重労働による健康障害防止対策とメンタルへルス対策を重点的に進めていく。
意図 (何を狙っているの か)	1. 職員が健康な状態で勤務できる。 2. 安全で快適な職場環境を整備する。
ねらい(上位施策の 意図)	入力対象外

計画事業期間

区分			₩ / ⊥	20年度	2 1年	2 2 年度	
			単位	実績	計画	実績	計画
	指標 1	職員数	人	1, 338	1, 322	1, 329	1, 316
対象指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1	健康診断の受診率	%	94. 07	100	93. 84	100
活動指標	指標 2	メンタルヘルス相談の利用者数	人	38	36	38	36
	指標3	安全衛生委員会の開催回数	回	7	10	7	10
	指標 1	長期病休者数(休業30日以上の療養者)/職員数×100,000	人	2, 466. 3	2, 400	3, 225. 8	2, 466
成果指標	指標 2	公務災害の発生件数/職員数×1,000	人	1. 49	0	4. 51	0
	指標3						
	指標 1						
上位成果指標	指標 2						
	指標3						

⊐ -	- ド 3023	事務事第	美名称	安全衛生管理事業		所属名 職員課		
			単位	20年度	2 1	年度	2 2 年度	
			+12	実績	計画	実績	計画	
		国	千円	0	0	0	0	
	財源内訳	県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
+		一般財源	千円	4, 255	5, 045	4, 496	5, 110	
事業		その他	千円	0	0	0	0	
費 (A)	主な事業費の内訳			報酬1,475千円,普通旅費45千円,消耗品費88千円,手数料10千円,委託料2,600千円,負担金38千円	報酬1,475千円,普通旅費46 千円,消耗品費89 千円,手数料14千円,委託料 3,380千円,負担金41千円	報酬1,475千円,普通旅費57千円,消耗品費102千円,手数料29千円,委託料2,767千円,負担金69千円	報酬1,475千円,普通旅費67 千円,消耗品費110千円,手 数料29千円,委託料3,360千 円,負担金69千円	
人件費(B)			千円	9, 478. 1	9, 271. 8	9, 229. 6	9, 229. 6	
١ -	- タルコスト	(A) + (B)	千円	13, 733. 1	14, 316. 8	13, 725. 6	14, 339. 6	

3. 事務事業の評価(SEE)

3.	事務事業の評価(SEE)									
評価 類型	評価事項	評価区分	理由							
		☑ 結び付いている	病気やケガによる病休者を減らし、労働効率を高めることは、効率的行政運営を推進する結果となる。							
	①事業目的が上位の施策に結びつ	□ 結び付くが見直しの余地がある								
	いているか?	□ 結びつきが弱い・ない								
		☐ 評価対象外事項								
		□ 達成している	業務の複雑化や住民ニーズの多様化により、長期病休者の増加が懸念される。							
	②すでに所期目的を達成しているか?	☑ 達成していない								
目的妥当	※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。	□ 評価対象外事項								
性	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	健康診断業務,予防接種業務及びメンタルヘルス相談業務については委託で実施しているが, 安全衛生委員会の運営及びその他の内部調整に関する事項は,民営化にはなじまない。							
	※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。	☑ 可能性はない								
	(民間委託は、権限に属する事務事業 等を委託することで、民営化とは異な る。)	□ 評価対象外事項								
		☑ 現状のままでよい	職員の健康度を高めるためには、心身共に健康な状態で勤務できるための施策と、環境整備が必要である。							
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 見直す必要がある								
		□ 評価対象外事項								
		□ 有効性向上の可能性がある	職員の安全と健康を確保するため、公務災害の発生件数や長期病休者率を下げるような施策を 進めているが、地方分権の推進や住民ニーズの多様化等によって、職員1人ひとりに求められ る役割や責任は年々増加しており、これらの数値が今後目に見えて減少していくことは難しい と思われる。							
	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2,	□ 効率性向上の可能性がある								
	3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	□ 両方可能性がある								
	入する。 	☑ 可能性がない								
有	⑤-2 有効性や効率性を向上さ	□ 民間委託等								
	せる手段は何か? 該当する手段を選択し、	□ 臨時的任用職員等の活用								
	具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」	□ IT化等の業務プロセスの見直し								
生	である場合は、該当する類似事業を記入する。	□ 受益者負担の見直し								
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 1 実施主体 (所管部署)							
		□ 上記以外の方法	事業 実施主体 名称 (所管部署)							
	⑤ー3 推進にあたっての課題はあ	□ ある								
	るか?(一時的な経費増・市 民の理解等)	口ない								

⊐ -	ード	3023	事務事業名称	安全	衛生管理事	業					所属名	職員課
今後の方向	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。							平成20年度の医療制度改革により、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診定保健指導の実施が保険者に義務づけられたため、昨年度に引き続き、生活習慣病をるための保健指導を、保険者と連携をとりながら進めていく。また、「精神及び行動」を減少させるためのメンタルヘルス対策や、公務災害を防止するための安全管理をしても、安全衛生委員会で審議していく。				
性	の方	⑦この事務事業の今後の経費・成果 の方向性について選択し、右欄に理 由を記載する。			向 上 不 変 低 下	削減	経不			図っている。メンタル・	ヘルス不調	方法の見直し等により,極力,経費削減を 者の発生率や公務災害の発生率はなかなか ルヘルス対策等を推進していく。
この ※内	事務事	■業に対する市民 -ビス業務の場合	これ これ これ これ これ これ これ これ これ これ これ これ これ こ	(担当者	ちが把握して ナービス利用	ている意見) 日者、関連) 部門の1	意見や実態	まなど			
										動の障害」による長期病 が求められている。	休者が増加	しており、メンタルヘルス不全者を発生さ
所属長コメント	に非	常に有効だと思	う。公務職場で はなかなか減少	は全国 しない	的にメンタ 。限りある	ルヘルス T 職員一人ひ	で調者が	増加傾向	にあり	, 八千代市においても関	建康診断の有	まな状況で勤務出来る等。)を達成するため 有所見率は減少傾向にあったが,メンタルへ 安全衛生管理事業の重要性は,現下の各種厳
	口改	革改善して継続	担	当課の)評価のとま	おり,現状の	のまま絹	迷続とする) ₀			
評価調整委員会評価	原	手法プロセスの記 事業規模の拡大 統合・役割見直 その他 上・休止 業完了 状のまま継続	- 縮小									